



創刊号
2000年9月15日 発行
第2版

特定非営利活動法人プール・ボランティア

PV通信

編集：PV事務局

住所：〒540-0034

大阪府中央区島町2-4-3-902

電話：06-4794-8299

FAX：06-4794-8298

URL：http://www.pool-npo.or.jp

E-mail：pv@pool-npo.or.jp

みなさんこんにちは。

「特定非営利活動法人 プール・ボランティア」が誕生して、まだ9ヶ月だというのに、その反響の大きさに驚いています。

組織的なサポート活動という点では、日本で初めての活動であり、「プール・ボランティア」という言葉も以前にはありませんでした。

これからも、一人でも多くの人たちに「楽しく安全に水と親しむ」というPVの輪を広げていきたいと考えています。

プール・ボランティアから、パラリンピックに出場する選手がでるのも、そう遠いことではないかもしれません。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

理事長 岡崎 寛



たくさんキスされたぞー！

ボNo.10 山田 崇さん

先日、私たちプール・ボランティアは初めて自閉症やダウン症の子ども達五人とプールへ行ってきました。そのときの感想をみなさんに伝えます。

何より感じたことは、一緒に楽しむことの大切さです。子どもとの水のかけあい、そして題のとおりたくさんほっぺにキスをされました。ていうか、吸われてました。『男同士だぞー！』そんな2時間でした。

一緒に遊ぶ関係の中から信頼やスポーツの楽しさをお互いに共有できたらいいと思います。今では、障害に対する理解も深まりつつありますがその流れの中で、もっと多くの人がふれあいを持つことで、より良い社会が実現できたらいいですね。

ということで、毎週子ども達との交流は続きます。もっともっと仲良くなって、みんなにほっぺにキスされるようになりたいなー。

PV活動を始めて半年！

ボNo.16 江頭 正美さん

早いもので、プール・ボランティアの活動を始めて半年が過ぎました。あっというまです。おもに日曜日を中心に全盲の青年のサポートをしています。お互いおしゃべりが好きとあって、毎回よくしゃべり、よく泳ぐといったところです。「江頭さん、江頭さん。今日こんなことがあったんですよお〜。」のらなきやいのに私も「ほう。なにに。ほんでほんで。」てなくあいに。泳ぐ合間をぬっては、ぺちゃらくちやら。

彼はとても頑張り屋さんです。先日、お母さんからこういうお話を伺いました。彼が障害者仲間とプールで泳ぐ機会があったとき、他の友達各自好きなように水で遊んでいる傍ら、彼だけ黙々と練習に励んでいたそうです。その光景を頭に描いただけで思わず顔が緩んでしまいます。でもうれしいですね。泳ぐのが本当に好きみたいで。こんな彼の為にも、試行錯誤の毎日ですが、がんばってサポートしたいと思います。

「ボランティア21」
～水の世界にもバリアフリー～
7月14日（金）テレビ大阪 放映
（2週間にわたり日本全国で放映されました。）

テレビ大阪 スタジオで収録前の緊張の瞬間

PV事務局での収録風景

メイク室にて岡崎さんもお化粧
メイクさん「あぶら押さえておきましょうね」

収録前の打ち合わせ中（真剣なまなざし）

